

平成29年度 決算のあらまし

去る6月26日に開催された第184回組合会において、当組合の平成29年度の決算が承認されましたので、その概要をお知らせします。

総括事項

組合員数は、長年減少傾向にありましたが、平成28年度から増加に転じ、平成29年度は170人の増加となりました。

任意継続組合員および被扶養者数は、ともに前年度より減少となりました。

◎組合員数・被扶養者数

区 分	平成28年度	平成29年度	比較増▲減
一 般 組 合 員	20,954人	21,110人	156人
市 町 村 長 組 合 員	41人	40人	▲1人
市 町 村 長 長 期 組 合 員	3人	4人	1人
特 定 消 防 組 合 員	3,994人	4,008人	14人
長 期 組 合 員	2人	2人	0人
継 続 長 期 組 合 員	0人	0人	0人
計	24,994人	25,164人	170人
任 意 継 続 組 合 員	772人	524人	▲248人
被 扶 養 者	24,481人	24,054人	▲427人

◎組合を構成する市町村等の数

区 分	平成28年度	平成29年度	比較増▲減
市	32	32	0
町	10	10	0
村	2	2	0
一部事務組合	39	39	0
計	83	83	0

◎平均標準報酬月額

長 期	378,739円
短 期	379,471円

業務経理

この経理は、地方公共団体負担金、短期経理からの繰入金および全国市町村職員共済組合連合会（以下「市町村連合会」といいます。）からの交付金を財源に、人件費および事務費、その他共済組合の運営に要する諸費用を賄っています。

平成29年度の組合員1人当たりの事務費は年額11,280円で、経費削減に取り組んだ結果、約2千万円の当期利益金が生じました。

短期経理

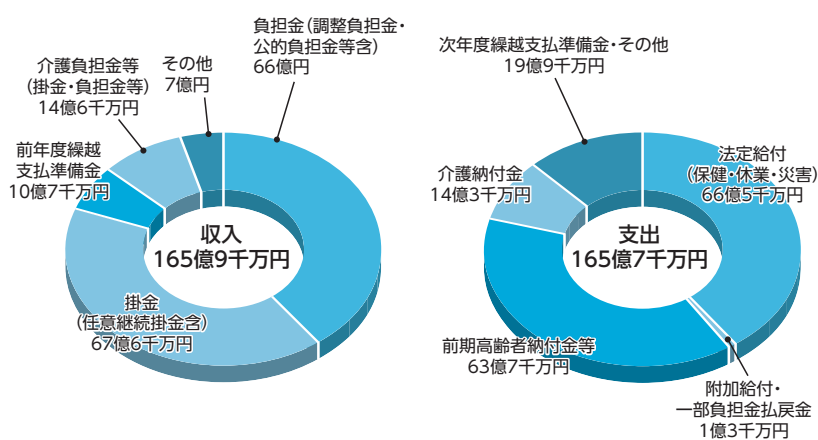
この経理は、組合員やご家族の皆さんの病気やケガによる医療費の支払いのほか、出産、死亡、その他災害が生じた場合などに行う給付、高齢者医療に係る各種拠出金の納付のほか、介護保険料の収納を行っています。

平成29年度は、約1千万円の損失となりましたので、積立金を取り崩して補てんしました。

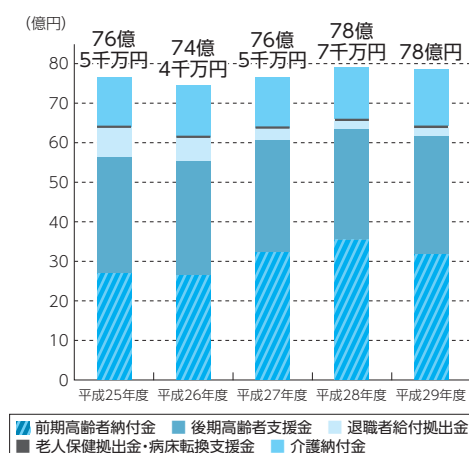
また、各種拠出金（前期高齢者納付金・後期高齢者支援金等）は約63億7千万円となり、掛金・負担金に占める割合は約48%となりました。

介護保険は、介護納付金等の支出約14億3千万円に対し介護掛金・負担金等の収入が約14億6千万円で、約3千万円の当期介護利益金が生じました。

◎平成29年度の収支状況



◎各種拠出金の推移



厚生年金保険経理

この経理は、組合員の皆さんの保険料および地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

平成29年度の収入金額は、保険料と負担金を合わせて約347億5千万円となりました。

退職等年金経理

この経理は、「退職等年金給付」の財源として、組合員の皆さんの掛金および地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

平成29年度の収入金額は、掛金と負担金を合わせて約22億5千万円となりました。

経過的長期経理

この経理は、被用者年金一元化前に決定した公務等の障害・遺族年金に要する費用の財源として、地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

平成29年度の収入金額は、約1億1千万円となりました。

経過的長期預託金管理経理

この経理では、市町村連合会が保有する年金積立金の預託を受け、管理・運用しています。

預託された約41億円を主に貸付経理への資金の貸付のほか、地方公共団体より引き受ける縁故地方債等で運用しています。

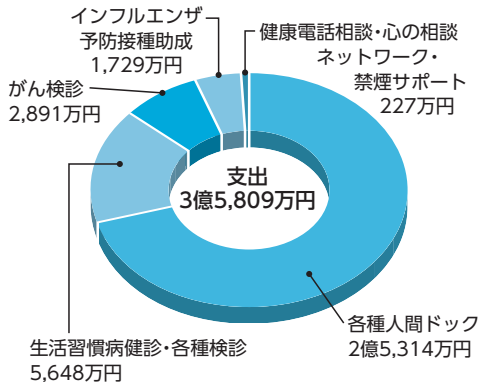
保健経理

この経理は、医療費増高対策の一環として、組合員とご家族の皆さんの健康保持増進を図るため、各種検診をはじめとする福利厚生事業を行っています。

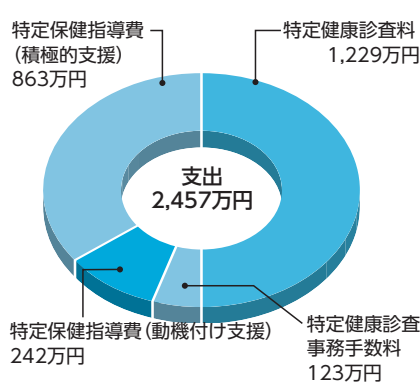
各種事業費の支出合計は約5億円で、そのうち人間ドック助成が約2億5千万円と事業費の約50%を占めています。

また、大洗鷗松亭の将来の改修費用に備えるため、準備資金として改良積立金に5千万円積み増しました。

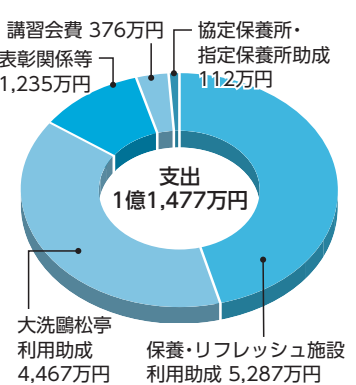
健康づくり事業費



特定健康診査等費



助成・講習会・表彰等



宿泊経理

この経理は、保養所「大洗鷗松亭」を運営するための経理です。

オープン以来、組合員の保養所として多くの方々にご利用いただき誠にありがとうございます。

平成29年度の宿泊利用者数については、2万6千人超となり、全国の保養所の中では常にトップクラスの利用率を保っています。

収支については、約7千万円の当期利益金を計上し、全額積立金に繰り入れました。

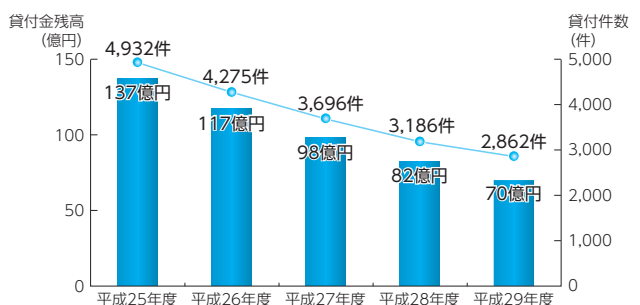
貸付経理

この経理では、組合員の皆さんの住宅資金など生活に関連した資金の貸付を行っています。

平成29年度末の総貸付件数は、2,862件で前年度より324件減少し、貸付金残高も約70億円と前年度より約12億円減少しましたが、収支の結果、約4千万円の当期利益金が生じました。

平成30年1月から貸付利率が引き下げとなりましたので、住宅の購入やお子様の就学費用等の借入れの際はぜひご活用ください。

組合員貸付金の残高・件数の推移



貯金経理

この経理では、共済貯金に加入されている組合員の皆さんからお預かりした資金を安全かつ効率的に運用し、市中金利よりも有利な利率で還元することにより、健全な財産形成を図ることを目的としています。

平成29年度末において19,267人の加入者から約1,174億円をお預かりしており、貯金残高は前年度より約13億円の増加となりました。

収支の結果、約2億9千万円の当期利益金が生じました。

共済貯金の運用状況

平成29年度の決算をもとに、貯金経理の貸借対照表と資産構成割合を掲載します。

運用の多くは国債などの有価証券が占め、高い支払利率（年利1.68%）を設定できる大きな要因となっています。

皆さんからお預かりした大切な資金であることを踏まえ、今後も安全性を最優先に効率的な運用を行ってまいります。

◆平成29年度決算 貸借対照表

(単位:百万円)

借方	金額	構成割合	貸方	金額	構成割合
普通預金	10,640	7.82%	組合員貯金	117,415	86.26%
定期預金	11,000	8.08%	流動負債	361	0.27%
有価証券	112,955	82.98%	固定負債	43	0.03%
長期貸付金	1,224	0.90%	剰余金	18,296	13.44%
その他	296	0.22%			
計	136,115	100.00%	計	136,115	100.00%

※剰余金には、将来の欠損金の補てんに充てるための法定積立額を含んでいます。

◆有価証券の内容

(単位:百万円)

種類	金額	構成割合
国債	12,756	11.29%
地方債	13,154	11.65%
政府保証債	8,291	7.34%
公社公団債	61,967	54.86%
一般事業債	3,296	2.92%
社債	6,991	6.19%
円貨建外国債	6,500	5.75%
計	112,955	100.00%

※円貨建外国債については、格付機関からAAAの格付を取得している国際機関、外国政府または政府保証債にあたる外国法人が発行するものを保有しています。

<支払利率 年利1.68%>

◆資産の平均運用利回り 年1.69%
(平成28年度 年2.20%)

〈算式〉

$$C \div \{(A+B-C) \times 1/2\} \times 100$$

A = 年度始資産

B = 年度末資産

C = 当該事業年度における資産の運用利益金

◆有価証券の平均運用利回り 年2.04%
(平成28年度 年2.66%)

〈算式〉

$$C \div \{(A+B-C) \times 1/2\} \times 100$$

A = 年度始有価証券合計

B = 年度末有価証券合計

C = 当該事業年度における有価証券の運用利益金

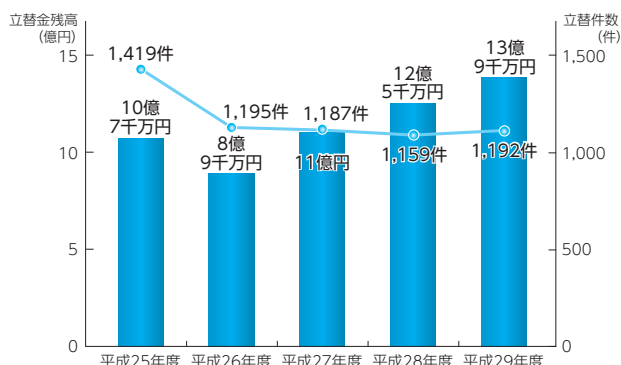
物資経理

この経理では、自動車購入資金の立替えを行っています。

平成29年度の物資立替金残高は約13億9千万円で、前年度より約1億4千万円増加しています。

平成29年度の新規立替件数は258件で、収支の結果、約300万円の当期利益金が生じました。

◎物資立替金残高・件数の推移



財形経理

この経理は、国が作成する地方公務員等財産形成事業基本計画に基づき市町村連合会からの借入金を財源として、住宅財産形成貯蓄をしている組合員の皆さんに住宅資金を低利で貸し付けています。

年度予算が決まっているため希望者が多数の場合には先着順となります。



情報提供ネットワークシステムを使用した情報連携が始まりました

平成30年7月2日から組合員の皆さんから提供いただいた個人番号を基に情報提供ネットワークシステムを使用した情報連携が始まりました。

この情報連携により、今まで被扶養者の認定の申告等に添付が必要であった「所得証明書」や「課税(非課税)証明書」などの地方税関係に係る書類の提出が不要となります。

なお、情報連携を行う場合は、対象者の方の同意が必要となることから、個人番号の提供と併せて同意書を提出していただくこととなりますので、ご協力をお願いします。

※情報連携は当面試行運用のため、引き続き、上記の書類の提出が必要となりますので、ご了承ください。

